



2012年2月9日

プルデンシャル生命保険株式会社

「東日本大震災 被災患者支援基金」に397万円を寄付 ～全国骨髓バンク推進連絡協議会会長・市川團十郎さんが来社～

プルデンシャル生命保険株式会社（本社 東京都千代田区、代表取締役社長兼最高経営責任者 ジョン・ハンラハン）は2月6日、全国骨髓バンク推進連絡協議会「東日本大震災 被災患者支援基金」に397万円を寄付しました。寄付は今回で7回目となり、今回を含めた同協議会への寄付の合計金額は1,881万円となりました。

東京第一支社で開催された贈呈式には、昨年7月より同協議会の会長を務める歌舞伎俳優の市川團十郎さんが来社され、当社代表取締役社長 ジョン・ハンラハンが市川会長に目録を手渡しました。市川会長からは「このたびの正月の箱根駅伝でのボランティア参加と多大な寄付に厚く御礼申し上げます。私も白血病患者の一人として、骨髓移植によるスムーズな治療が大事であると痛切に感じています。皆さまからお贈りいただいたご好意を一つの灯火として受け取り、今後大きな光となるようにしたいと思います」と御礼のご挨拶がありました。

当社は、骨髓バンクの知名度向上と白血病患者の支援を目的に、毎年1月に開催される箱根駅伝の沿道に骨髓バンクののぼりを立てた社員やその家族のボランティア1人につき1万円をマッチングして「白血病患者支援基金」に寄付しています。今年は特に東日本大震災の被災地の患者さんが対象となる「東日本大震災 被災患者支援基金」として寄付を行いました。

沿道にのぼりを立てるボランティアは、「お正月に病院のベッドで病気と闘っている子どもたちに、テレビ画面に映るのぼりを通じて『元気』と『勇気』を届けたい」という同協議会の活動趣旨に共感した当社社員が毎年実施しています。ボランティア数も年々増加し、今年の参加者は397人となりました。



全国骨髓バンク推進連絡協議会 市川團十郎会長に目録を贈呈する当社社長 ジョン・ハンラハン（右）

以上